

クリティカルパス推進委員会

クリティカルパス推進委員会では、クリティカルパス(以下、パス)を用いて医療の標準化・効率化、チーム医療の円滑化等を目指し、パスの推進を行っています。パスとは簡単に言うとあらかじめ決められた治療のスケジュール表のことで医療スタッフと患者さんが治療計画を共有しながら治療や検査を行っています。このパス内容を充実させることにより医療の質や患者サービス向上に繋がっていきたくと考えています。

令和7年度の主な活動としては、医師・看護師を始め院内の様々な職種のパス委員を中心として、パスの種類を増やし使用を促進してきました。特に泌尿器科や産婦人科等ではロボット手術に特化したパスを作成し全体的に種類が増えています。看護ケアや観察項目を看護オーダーとして登録し、栄養指導、服薬指導等も登録。使いやすく安全に使用出来るパスになるよう取り組みました。また、アウトカムやバリエーションといった評価に繋がる項目に対して、現場への周知徹底も行いました。現在、当院では電子パスが前年度の80種類から90種類に増加しています。特に前年度と比較し呼吸器内科、循環器内科、小児科、泌尿器科での使用が多くなっており、その他の診療科でも高い使用率となっています。

今後は、より電子パスを促進するため、電算やベンダーとも連携をとりながらパスの改善・促進を行い、チーム医療の円滑化や医療の標準化、患者サービスへの向上に寄与できるよう活動を行っていきたくと思います。

★今年度改訂した患者パスの1例

RAPN ロボット支援下腎部分切除術 を受けられる患者様へ						
様 受持医師名： 受持看護師名：						
月日(日時)	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2～4日目	手術後5～7日目
経過(病日等)	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2～4日目	手術後5～7日目
達成目標	◇手術の必要性を理解し、手術に臨むことができる ◇心電ともに準備が出来る ◇手術の準備が整う		◇術後合併症を起こさず経過する ◇苦痛が最小限にでき、早期離床できる			◇膀胱留置カテーテル抜去後の尿失禁や出血などによる不安が最小限にでき、異常なく回復できる
治療・薬剤 (点滴・内服)	* 現在飲んでいる薬を 確認させていただきます。 * 21時に下剤があります。 	* 朝7時に起床があります。 * 手術前に点滴をします。 * 医師から指示された薬のみ お飲みください。 	* 手術後、点滴・酸素マスク、 心電図モニターをつけます。 * 熱や血圧をこまめに測ります。 	* 手術後2日目まで点滴があります。 * 心電図モニターをはずします。 * 医師の指示により飲み薬が 始まります。		
処置	* 手術の時に血液のつまりを 予防するためのストッキングの サイズを測定します。	* ストッキングを着用します。 	* 手術後、お腹に管が入ります。		* 医師の許可でお腹の 管が抜けます。	
検査			* 手術後、主治医の指示で 採血することがあります。	* 血液検査があります。 * レントゲンの検査があります。	* 手術後3日目に 血液検査があります。	* 手術後5日目に 血液検査があります。 
活動 安静度	* 制限はありません。		* ベッド上安静です。	* 歩けます。 初めて歩くときは看護師が 付き添います。	* 制限はありません。	
食事	* 夕食後より絶食となります。	* 朝7時以降絶食 	* 飲んだり食べたりできません。	* レントゲンの結果が問題なければ 昼から食事ができます。 		
清潔	* シャワーに入ってください。	* 朝7時までに歯磨きをします。		* 看護師がお体を拭きます。		* 尿の管が抜けたらシャワーに入れます。
排泄	* いつも通りです。	* 手術の前にトイレをすませて おいてください。	* 尿の管が入っています。			* 医師の許可で尿の管が 抜けます。
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	* 手術前日、手術室看護師の訪問があります。 * 手術承諾書の確認をします。 * 手術の必要物品の確認をします。  禁煙してください！		* 痛いときは我慢せずにお呼びください。 * 下腹がはったり、尿意がある時は 言ってください。 * いきまないよう注意して下さい。	* 尿の管の管理方法・注意点に ついて説明します。		* 尿の管を抜いてから、排尿記録を つけます。看護師が説明に行きます。 * 尿に行きたい感じが多くなったり、 尿が漏れたりすることがあります。

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2 入院期間については現時点で予想される期間です。尚、退院日は、担当医師の退院許可があって後に
病棟看護長が患者様と相談の上決定いたします。